

移植外科

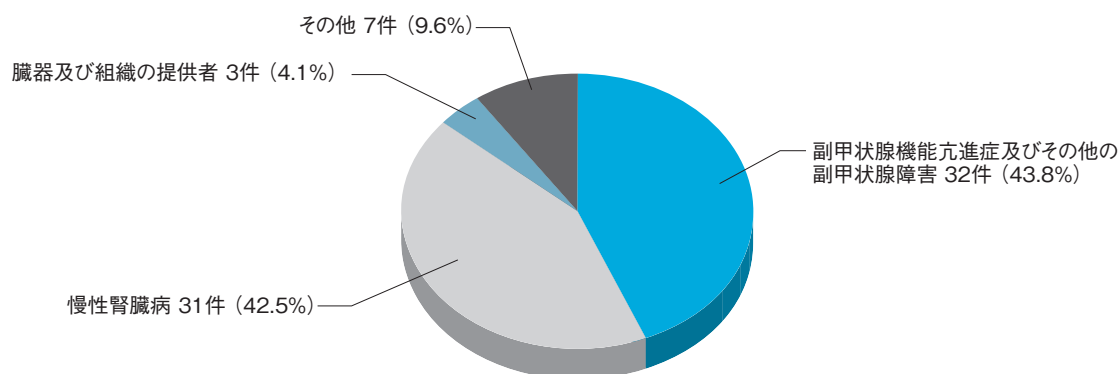
1. 概要

2010年4月に移植外科が標榜され、2012年5月に大塚聡樹医師（15年間勤務）が異動し、2021年3月に岩瀬勇斗医師が新しく赴任した。2012年10月からは東三河地域において唯一の腎移植認定施設となってしまったため、当地域の献腎移植登録患者の待機期間中のフォローアップは当院のみで行っている（常勤2人、非常勤1人体制）。また他院で移植された腎移植患者や肝臓・膵臓移植患者の定期通院も受け入れており、愛知県だけでなく全国の移植施設との間で病診連携がなされている。生体腎移植希望患者は年々増加しており今後、腎移植症例はさらに増えてゆくものと思われる。また長期透析に伴い骨代謝異常をおこす続発性副甲状腺機能亢進症に対する外科的手術（副甲状腺全摘出術＋前腕筋肉内自家移植術）件数も増加しており、昨年は名古屋第二赤十字病院に次ぎ全国で二番目に多い症例数となった。副甲状腺手術症例も県をまたいで、より遠方からの紹介も増えている。

（部長 長坂 隆治）

2. 新規登録疾患

総数：73件



3. 活動報告

(1) 患者状況

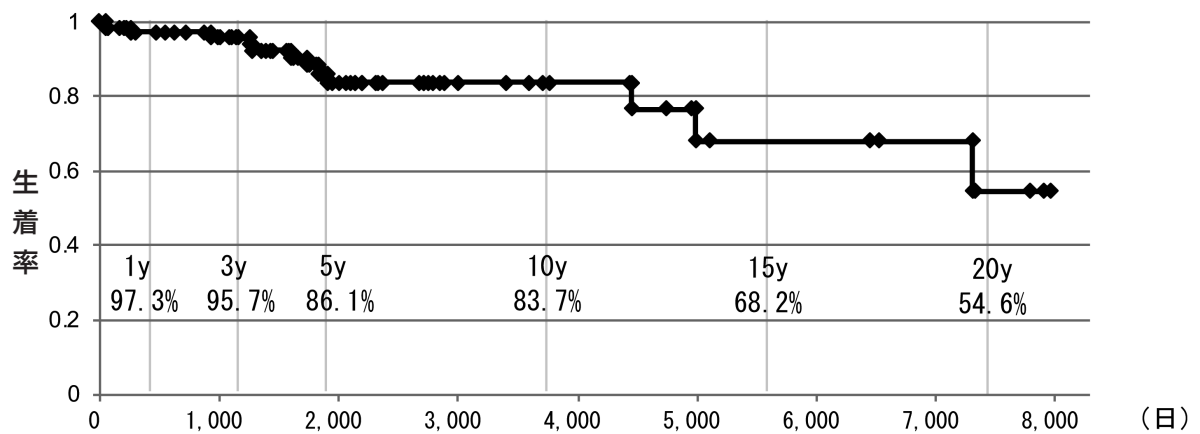
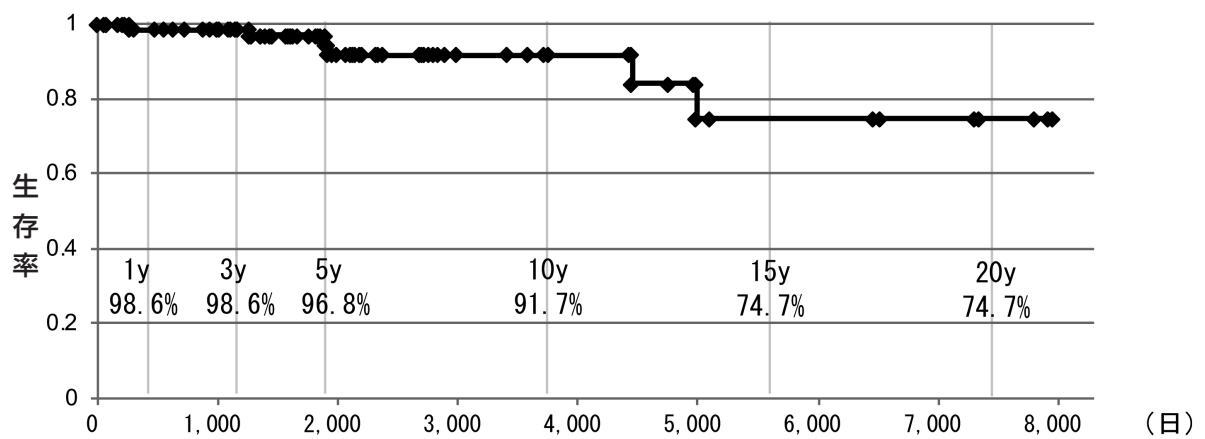
年間外来患者数	1,321人	年間外来新患者数	53人
年間入院患者数	619人	年間入院新患者数	66人

(2) 外来患者の状況

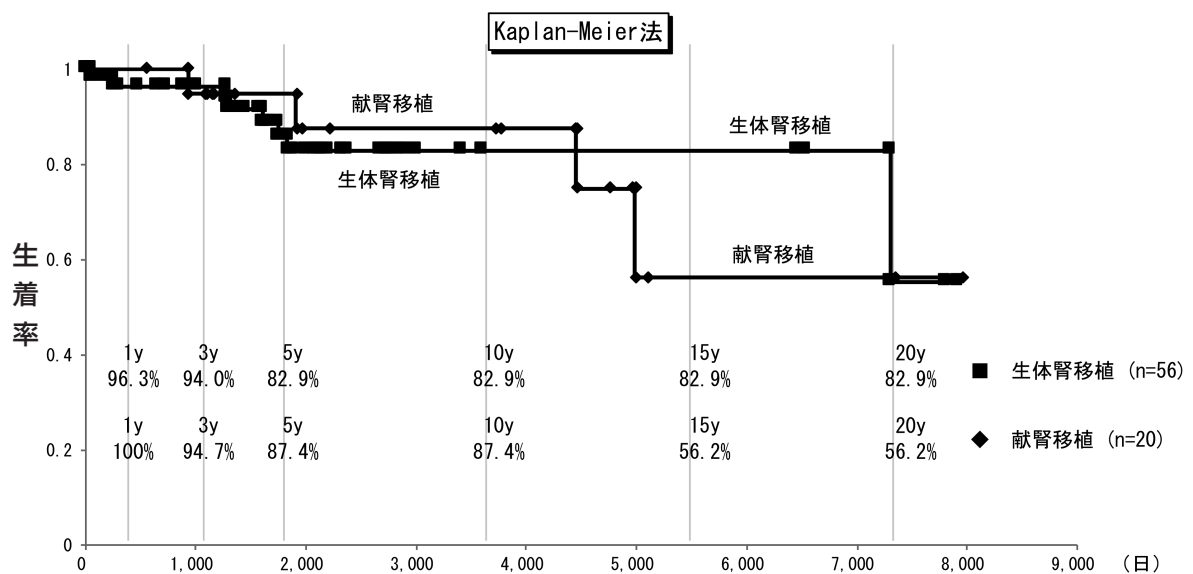
	疾 患 名	件 数 (件)
1	献腎移植登録外来	101
2	腎移植後	93
3	生体移植ドナー術後（肝臓、腎臓、膵臓）（当院外患者）	71
4	副甲状腺手術後	63
5	肝移植後	9
6	膵移植後	1

（2021年3月1日現在）

(3) 当院腎移植症例の生着率と生存率 (2021年4月現在, N=76)



(4) 当院腎移植症例の生着率 (生体腎移植 vs 献腎移植) (2021年3月現在, n=76)



学会発表（医局）

（移植外科）

1	長坂 隆治.膀胱拡大術後の代用膀胱形態を術前画像評価し腎移植に至った症例.第53回日本臨床腎移植学会.東京都.2020/2/21
---	--

論文・著書（医局）

（移植外科）

1	長坂 隆治.高カルシウム血症により精神症状を呈した原発制服甲状腺機能亢進症の高齢患者症例.東三医会誌.2020; 42: 15-17.
---	---